

# ばい煙発生施設設置（使用、変更）届出書

年 月 日

長崎県知事 様

届出者住所

氏名(名称)

代表者氏名

電話番号

大気汚染防止法第6条第1項(第7条第1項、第8条第1項)の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※整理番号	
工場又は事業場の所在地		※受理年月 日	年 月 日
ばい煙発生施設の種類		※施設番号	
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり。		

- 備考
- ばい煙発生施設の種類欄には、大気汚染防止法施行令別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
  - ※印の欄には、記載しないこと。
  - 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

## ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規	伝熱面積 (m <sup>2</sup> )		
	燃料の燃焼能力 (重油換算 L/h)		
	原料の処理能力 (t/h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量 (KVA)		
	触媒に付着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼却能力 (kg/h)		
模	乾燥施設の容量 (m <sup>3</sup> )		
	電流容量 (KA)		
	ポンプの動力 (KW)		
	合成・漂白・濃縮能力 (kg/h)		

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行令別表第1の中欄に掲げる施設の当該下欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

ばい煙発生施設の使用方法

工場又は事業場における施設番号							
使用状況	1日の使用時間及び 月使用日数等	時～時 時間/回 回/日 日/月		時～時 時間/回 回/日 日/月			
	季節変動						
原材料（ばい煙の発生に影響のあるものに限る。）	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合（%）	いおう分 カドミウム分	鉛分 窒素分	いおう分 カドミウム分	鉛分 窒素分		
	1日の使用量						
燃料又は電力	種類						
	燃料中の成分割合（%）	灰分	いおう分	窒素分	灰分	いおう分	窒素分
	発熱量						
	通常の使用量						
排出ガス量（Nm <sup>3</sup> /h）	湿り	最大	通常	最大	通常		
	乾き	最大	通常	最大	通常		
排出ガス温度（℃）							
排出ガス中の酸素濃度（%）							
ばい煙の濃度	ばいじん（g/Nm <sup>3</sup> ）	最大	通常	最大	通常		
	いおう酸化物 （容量比ppm）	最大	通常	最大	通常		
	カドミウム及び その化合物（mg/Nm <sup>3</sup> ）	最大	通常	最大	通常		
	塩素（mg/Nm <sup>3</sup> ）	最大	通常	最大	通常		
	塩化水素（mg/Nm <sup>3</sup> ）	最大	通常	最大	通常		
	弗素、弗化水素及び 弗化珪素（mg/Nm <sup>3</sup> ）	最大	通常	最大	通常		
	鉛及びその化合物 （mg/Nm <sup>3</sup> ）	最大	通常	最大	通常		
	窒素酸化物 （容量比ppm）	最大	通常	最大	通常		
ばい煙量	いおう酸化物 （Nm <sup>3</sup> /h）	最大	通常	最大	通常		
参考事項	燃料の比重	ばい煙排出口の口径（m）		排出口の断面積（m <sup>2</sup> ）			
その他							

- 備考 1 原材料中の成分割合（%）の欄及び燃料中の成分割合（%）の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 その他の欄には、ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設についての一工程中の排出量の変動の状況、窒素酸化物の発生抑制のために採っている方法等を記載するほか、ガスタービン、ディーゼル機関、ガス機関又はガソリン機関については、常用又は非常用（専ら非常時において用いられるものをいう。）の別を明らかにすること。

## ばい煙の処理の方法

ばい煙処理施設の工場又は事業場における施設番号				
処理に係るばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号				
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式				
設	置	年 月 日	年 月 日	
着	手	予 定 年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (Nm <sup>3</sup> /h)	最 大		
		通 常		
	排出ガス温度 (°C)	処 理 前		
		処 理 後		
	ば い 煙 の 濃 度	ばいじん (g/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
		いおう酸化物 (容量比ppm)	処 理 前	
			処 理 後	
		カドミウム及び その化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
		塩 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
		塩 化 水 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前	
			処 理 後	
	弗素、弗化水素 及び弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前		
		処 理 後		
	鉛及びその化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処 理 前		
		処 理 後		
	窒素酸化物 (容量比ppm)	処 理 前		
		処 理 後		
ば い 煙 量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最 大	処 理 前	
			処 理 後	
		通 常	処 理 前	
			処 理 後	
捕 集 効 率 (%)	ば い じ ん			
	い お う 酸 化 物			
	カドミウム及びその化合物			
	塩 素			
	塩 化 水 素			
	弗素、弗化水素及び弗化珪素			
	鉛 及 び そ の 化 合 物			
	窒 素 酸 化 物			
使用状況	1日の使用時間及び使用日数等		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季 節 変 動		時～ 時 時間/回 回/日 日/月	
排 出 口 の 実 高 さ H <sub>o</sub> (m)				
補 正 さ れ た 排 出 口 の 高 さ H <sub>e</sub> (m)				
排 出 速 度 (m/s)				

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 補正された排出口の高さH<sub>e</sub>は、大気汚染防止法施行規則第3条第2項の算式により算定すること。
- 4 ばい煙処理施設の構造図とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

# 実施の制限期間短縮願

年 月 日

長崎県知事 様

届出者住所

氏名(名称)

大気汚染防止法第6条第1項(第8条第1項)の規定により届け出た施設について、同法第10条の規定による実施の制限期間を同条第2項の規定により次のとおり短縮くださるようお願いいたします。

事業所の名称	
事業所の所在地	
届出年月日	
期間短縮希望年月日	
理由	

○添付書類

(設置届、使用届、変更届共通)

- ①ばい煙発生施設の構造とその寸法を記入した概要図
- ②ばい煙処理施設の構造とその寸法を記入した概要図  
(煙突だけの場合も、その概要図)
- ③ばい煙発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の説明概要図(工程図)
- ④ばい煙発生施設とばい煙処理施設の設置場所を示した工場・事業場の配置図
- ⑤煙道の排ガス測定孔(径は10cm程度)の設置箇所を示した図面
- ⑥緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法を記載した書類
- ⑦工場・事業場への案内図
- ⑧ばい煙の発生に係る原材料および燃料の分析表
- ⑨ばい煙の計算書

(変更届のみ必要とするもの)

- ①変更期日及び変更説明書  
(変更内容を詳細に説明したもの)
- ②変更内容を説明する書類及び図面  
(変更の前後の状況を明らかにする図面等)